



2026 SUPER FORMULA LIGHTS RACE REPORT

MOBILITY RESORT **MOTEGI**

Rd.16 / 17 / 18

9.12[sat] - 13[sun]

[place] モビリティリゾートもてぎ (栃木県茂木町)

[weather] sat 曇り sun 曇り

[spectators] 未発表

Rd.1/2/3	FUJI SPEEDWAY	MAR 28 - 29
Rd.4/5/6	AUTOPOLIS	APR 25 - 26
Rd.7/8/9	SUZUKA CIRCUIT	MAY 23 - 24
Rd.10/11/12	OKAYAMA	JUN 13 - 14
Rd.13/14/15	Sportsland SUGO	AUG 29 - 30
Rd.16/17/18	MOBILITY RESORT MOTEGI	SEP 12 - 13

TOM'S

アクシャイ・ボーラが2度の表彰台を獲得。 梅垣清はドライバーズタイトルに届かずも、 総合力を発揮してチームタイトルを奪還。

2026年全日本スーパーフォーミュラ・ライツ選手権 Round16・17・18が、9月12日(土)・13日(日)に、モビリティリゾートもてぎで行われた。練習走行から予選・決勝にかけて天候が変わるなか、#37 アクシャイ・ボーラがRound16で2位、Round18で3位に入る活躍をみせた。#35 梅垣清がRound17で3位表彰台を獲得したほか、前回大会で3戦連続優勝を飾った#38 鈴木斗輝哉も3戦すべてで入賞を果たし、#36 オスカー・ブルツも初挑戦のもてぎで奮闘。チーム丸となってポイントを積み重ね、2年ぶりとなるチームチャンピオンに輝いた。



RESULTS

Race 16
予選 6位 決勝 8位

Race 17
予選 2位 決勝 3位

Race 18
予選 8位 決勝 7位

STANDINGS
DRIVERS 3位 | TEAMS 1位

QUALIFYING

Race 16	Race 17	Race 18
P6/1'43.295	P2/1'43.004	グリッドは第16戦の決勝レース結果
P8/1'44.936	P3/1'44.064	P7/1'44.586

RACE

35 梅垣 清 | KIYOSHI UMEGAKI
モビリティ中京 TOM'S TGR-DC SFL

RESULTS

Race 16
予選 11位 決勝 11位

Race 17
予選 10位 決勝 7位

Race 18
予選 11位 決勝 9位

STANDINGS
DRIVERS 8位 | TEAMS 1位

QUALIFYING

Race 16	Race 17	Race 18
P11/1'44.194	P10/1'43.683	グリッドは第16戦の決勝レース結果
P11/1'44.829	P7/1'44.168	P9/1'44.746

RACE

36 オスカー・ブルツ | OSCAR WURZ
レクサス松山城北 TOM'S TGR-DC SFL

RESULTS

Race 16
予選 2位 決勝 2位

Race 17
予選 6位 決勝 DNF

Race 18
予選 2位 決勝 3位

STANDINGS
DRIVERS 6位 | TEAMS 1位

QUALIFYING

Race 16	Race 17	Race 18
P2/1'43.093	P6/1'43.136	グリッドは第16戦の決勝レース結果
P2/1'44.318	DNF	P3/1'44.355

RACE

37 アクシャイ・ボーラ | AKSHAY BOHRA
レクサス松山城北 TOM'S SFL

RESULTS

Race 16
予選 4位 決勝 6位

Race 17
予選 5位 決勝 4位

Race 18
予選 6位 決勝 5位

STANDINGS
DRIVERS 4位 | TEAMS 1位

QUALIFYING

Race 16	Race 17	Race 18
P4/1'43.212	P5/1'43.134	グリッドは第16戦の決勝レース結果
P6/1'44.587	P4/1'43.899	P5/1'44.675

RACE

38 鈴木 斗輝哉 | TOKIYA SUZUKI
モビリティ中京 TOM'S TGR-DC SFL

QUALIFYING

天候:曇り | 気温:24℃ | 路面温度:28℃

今シーズン、最終大会の舞台となるのはモビリティリゾートもてぎ。木曜日から練習走行が行われたが、いずれのセッションも雨が絡む不安定なコンディションとなった。各車ともに周回を重ねて準備を進めたが、予選日になると路面はドライコンディションへと変化した。この状況下で、トップに迫る好走をみせたのがボーラ。1回目の予選で2番手を獲得。鈴木もライバルに迫るタイムを記録し、4番手に入った。ドライバーズチャンピオンの可能性を残していた梅垣は、ライバルの先行を許して6番手、ブルツもドライ路面への対応に苦戦し、11番手に終わった。

10分のインターバルを経て2回目の予選が開始されると、1回目の結果を受けてアジャストしてきた梅垣が2番手タイムを記録。3番手以降は0.1秒以内に4台がひしめく僅差の戦いとなり、鈴木が5番手、ボーラは6番手、ブルツは10番手から追い上げを狙う。



RACE

Race 16 天候:曇り | 気温:27℃ | 路面温度:35℃

Race 17 天候:曇り | 気温:23℃ | 路面温度:28℃

Race 18 天候:曇り | 気温:25℃ | 路面温度:30℃

Round16 決勝 (19 周) は、午前中の予選時に比べてやや気温が上がったなかでスタート。2番グリッドのボーラは、1周目から果敢にトップを狙うも逆転には至らず2位表彰台。4番グリッドの鈴木も表彰台を目指して仕掛けていったが、ライバルの先行を許して6位でチェッカー。梅垣はスタートでの出遅れが響いて8位、ブルツは11位でレースを終えた。

13日(日) 午前に行なわれた Round17 決勝 (14 周) は、前日の夜に降った雨の影響で偶数列グリッドの路面が少し濡れているコンディションでスタート。2番グリッドの梅垣はその影響を受けてポジションを1つ落とした。その後、逆転は叶わず3位でゴールした。鈴木が4位、ブルツが7位で続き、ボーラは1周目に他車と接触してマシンにダメージを負い、リタイヤとなった。午後の Round18 決勝 (14 周) では、ボーラが再び力強い走りをみせて3位に入ったことでチームチャンピオンが決定。鈴木が5位、梅垣が7位、ブルツは9位で2026年シーズンを締め括った。



Driver
梅垣 清

まずは、ドライバーズチャンピオンを獲得できなかったことが、本当に悔しいです。シーズンを通してみると、表彰台に11回上ることはできましたが、もう少し安定して結果を残したかったという思いがあります。うまくいかないときにどう改善していくか、その経験が足りていませんでした。素晴らしい環境を用意してくれたGRの皆様やチーム、そしてスポンサーの皆様には心から感謝しています。

Driver
オスカー・ブルツ

事前にシミュレーターで練習していた段階では、もてぎに対してかなり自信を持っていました。しかし、実際には練習走行までのウェット路面が、予選でドライへと変化したことに対応できず苦戦しました。2回の予選ともに後方に沈み、決勝も頑張りましたがポイントに手が届きませんでした。スーパーフォーミュラ・ライツは難しいシリーズだと痛感した1年でしたが、良い経験ができましたし、できれば来年も参戦したいと思っています。

Driver
アクシャイ・ボーラ

今シーズンは初めて日本でのレースを経験して、序盤はかなり苦戦しました。そこから日本に慣れることに集中して、徐々に前進できたと思います。特に今回のもてぎは、1年間の集大成だと思ってレースをすることができました。週末を通して全力を尽くしましたが、トップには届きませんでしたし、僅差で敗れた予選2回目は悔しかったです。1年間、このTOM'Sでスーパーフォーミュラ・ライツを戦えたことに対して、関係したすべての人と、サポートしてくれた家族に感謝しています。

Driver
鈴木 斗輝哉

練習走行は雨だったので、前戦からの流れを維持することを課題にして取り組んでいて、そこは良かったです。ただ、予選でいきなりドライコンディションになって、パフォーマンスをうまく出しきれないところがあって、少し悔いが残る結果でした。1年間を通してみると非常に苦戦した開幕戦から、後半戦は右肩上がりに成長できたと思います。レベルの高い選手がたくさんいるなかでレースができたことは良い経験になりました。

Team Director
山田 淳

今週末はアクシャイ選手が非常に良い走りを見せてくれました。シーズン後半に入ってから着実に調子を上げ、今回もその成長を感じることができました。梅垣選手はSUGOあたりから少し流れが噛み合わないレースが続き、最終的にはランキング3位でシーズンを終えることになりました。鈴木選手はSUGOで3連勝を飾るなど非常に良い走りを見せてくれましたが、今週はなかなかすべてをうまくまとめることができませんでした。

そして、我々TOM'Sにとって、今回がスーパーフォーミュラ・ライツ(F3)での最後のレースとなりました。最後は何とか良い形で締めくりたいという思いで臨み、チームタイトルを獲得することはできましたが、ドライバーズタイトルについては今年もライバルに奪われる結果となりました。40年近くにわたり、このカテゴリーでTOM'Sを応援してくださったファンの皆様、そして長年にわたり活動を支えてくださったスポンサー、関係者の皆様に、あらためて心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

